

( 第1部 )

特別産業廃棄物処理計画書

平成 30年 6月 27日

千葉市長 熊谷俊人 殿

提出者 JFE鋼板株式会社 東日本製造所

住 所 千葉市中央区塩田町385番地の1

氏 名 取締役 製造所長 富士本 憲嗣

(法人にあつては名称及び代表者の氏名)

電話番号 043-265-6211

廃棄物の処理 及び 清掃に関する法律 第12条第9項の規定に基づき、特別管理廃棄物の減量  
その他、その処理に関する計画を作成したので提出します。

事業場の名称	JFE鋼板株式会社 東日本製造所
事業場の所在地	千葉市中央区塩田町385番地の1
計画期間	平成 31年 4月 ~ 令和 2年 3月 迄

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	大分類 製造業	中分類 鉄鋼業	小分類 表面処理鋼材製造業
② 事業の規模	平成 30年度売上高 56,788百万円		
③ 従業員数	493名		
④ 特別管理産業廃棄物の 一連の処理工程	別紙2参照		

( 日本工業規格 A列4番 )

特別管理産業廃棄物の処理に係わる管理体制に関する事項			
( 管理体制図 )			
別紙1のとおり			
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥 (有害)	廃酸 (有害)
	排 出 量	1.7 t	44.1 t
	( これまでに実施した取組 )	生産工程の適正化による排出量の削減	同左
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥 (有害)	廃酸 (有害)
	排 出 量	2.0 t	50.0 t
	( 今後実施する予定の取組 )	生産工程の適正化による排出量の削減	同左
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	引火性廃油
	排 出 量	4.0 t	173.5 t
	( これまでに実施した取組 )	生産工程の適正化による排出量の削減	同左
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	引火性廃油
	排 出 量	5.0 t	180.0 t
	( 今後実施する予定の取組 )	生産工程の適正化による排出量の削減	同左

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿	
	排出量	0.0 t	t
	( これまでに実施した取組 )		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿	
	排出量	0.0 t	t
	( 今後実施する予定の取組 )		
特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
① 現状	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	( これまでに実施した取組 )		
② 計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排出量	t	t
	( 今後実施する予定の取組 )		
特別管理産業廃棄物の分別に関する事項			
① 現状	( 分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 ) 分別収集、排出により資源化 ( 廃酸、引火性廃油 )		
② 計画	( 今後分別予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組 ) 分別収集、排出により資源化を継続 ( 廃酸、引火性廃油 )		

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項			
① 現状	【 前年度 ( 年度 ) 実績 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( これまでに実施した取組 )		
	該当なし		
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( 今後実施する予定の取組 )		
	該当なし		
自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項			
① 現状	【 前年度 ( 年度 ) 実績 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( これまでに実施した取組 )		
該当なし			
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( 今後実施する予定の取組 )		
該当なし			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項			
① 現状	【 前年度 (      年度 ) 実績 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( これまでに実施した取組 ) 該当なし		
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分をう特別管理産業廃棄物の量	— t	— t
	( 今後実施する予定の取組 ) 該当なし		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
① 現状	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥 (有害)	廃酸 (有害)
	全処理委託量	1.7 t	44.1 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1.7 t	44.1 t
	再生利用業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t	0.0 t
( これまでに実施した取組 ) 排出量全量委託処理した。			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(30年度) 実績】			
特別管理産業廃棄物の種類	強酸		引火性廃油
全処理委託量	173.5	t	173.5 t
優良認定処理業者への処理委託量	4.0	t	173.5 t
再生利用業者への処理委託量	0.8	t	173.5 t
認定熱回収業者への処理委託量	0.0	t	0.0 t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0	t	0.0 t
( これまでに実施した取組 )  排出量全量委託処理した。			

① 現状

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(30年度) 実績】			
特別管理産業廃棄物の種類	磨石綿		
全処理委託量	0.00	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	0.00	t	t
再生利用業者への処理委託量	0.00	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	0.00	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	t	t
( これまでに実施した取組 )  排出量全量委託処理した。			

① 現状

## 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類	汚泥 (有害)	廃酸 (有害)
	全処理委託量	2.0 t	50.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	2.0 t	50.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
( 今後実施する予定の取組 )			
排出量全量委託処理する			
※事務処理欄			
② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類	強酸	引火性廃油
	全処理委託量	5.0 t	180.0 t
	優良認定処理業者への 処理委託量	5.0 t	180.0 t
	再生利用業者への 処理委託量	1.0 t	180.0 t
	認定熱回収業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	0.0 t	0.0 t
( これまでに実施した取組 )			
排出量全量委託処理する			
※ 事務処理欄			

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

② 計画	【 目標 】		
	特別管理産業廃棄物の種類	廃石綿	
	全処理委託量	0.00 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.00 t	t
	再生利用業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00 t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00 t	t
( 今後実施する予定の取組 )			
※事務処理欄			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度(30年度) 実績】		
	特別管理産業廃棄物 排 出 量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	223.3	t
(今後実施する予定の取組)			
マニフェスト情報の照会 により廃棄物の処理状況を閲覧し期限内に処理されているか確認する。運搬終了報告確認期限切れ間近または処分終了報告確認期限切れ間近、最終処分終了報告確認期限切れ間近の通知により、迅速に産廃業者に連絡し、対処してもらう。			
※事務処理欄			



備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は以下に従って記入すること。  
殿 ①欄には、日本標準産業分類の区別を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業における元請完成  
工事高(前年度実績)、医療機関における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模  
が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了  
するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には産業廃棄物の種類ごとに、自ら  
中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、  
自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類  
ごとに、埋立処分した量を記入すること。Tなお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に  
該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに  
全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関  
する法律施行令第6条の14第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量  
認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた  
者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている  
処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と  
記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。 また特別管理産業廃棄物の  
種類が3以上ある時は、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき  
内容を記入した別紙を添付すること。 また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは  
「 - 」を記入すること。
- 8 ※ 欄は記入しないこと

廃棄物管理組織・体制

統括責任者	所属 職名：取締役 製造所長	氏名 富士本 憲嗣
廃棄物担当組織名称	環境安全室	廃棄物担当組織人数 4 人
特別管理産業廃棄物 管理責任者	職名：環境安全室課長 資格：特別管理産業廃棄物 管理責任者	氏名：石川 淳 連絡先電話番号：043-265-6211
産業廃棄物対策組織図		
<pre> graph TD     A["統括責任者 (取締役 製造所長)"] --&gt; B["総務室 9人"]     A --&gt; C["環境安全 4人"]     A --&gt; D["めっき課 30人"]     A --&gt; E["カラー課 40人"]     A --&gt; F["設備課 22人"]     A --&gt; G["技術室 9人"]     A --&gt; H["工程室 9人"]     A --&gt; I["関連会社 96人"]     C --- J["特別管理産業廃棄物 管理責任者"]     </pre>		
担当部門名	業 務 内 容	
総務室	人事及び工場財産管理に関する業務	
環境安全室	環境・安全衛生管理に関する業務	
めっき課	めっき設備の操業管理及び製造に関する業務	
カラー課	カラー設備の操業管理及び製造に関する業務	
設備管理課	設備の保守・保全に関する業務	
技術室	品質保証及び製造技術に関する業務	
工程室	生産計画及び製品の出荷に関する業務	

生産・処理工程フローシート

